# ご　あ　い　さ　つ

当学術情報総合センターは、附属図書館、情報処理・ネットワーク及び情報処理教育の３機能を一体的に統合した大学の情報化拠点施設であり、平成８年１０月の開設以降、機能の充実強化や利用者サービスの向上に努めてまいりました。

平成２１年度は、文部科学省の平成２１年度研究拠点形成費等補助金（教育研究高度化のための支援体制整備事業）を獲得し、全学認証システムと全学ポータルシステムを構築するとともに、撮影・編集・配信などのメディア教材作成支援設備の整備を行いました。これにより、本学の教育研究における情報セキュリティの強化や利便性の向上を図ることができたと考えています。

今後も、当センターが有する優れた機能や施設などの資産を展示や講演会の開催等を通じて公開するとともに、効果的な広報により、その魅力をＰＲし、一層の利用促進を図りたいと考えています。

一方、電子ジャーナルの急速な普及とその購読料の高騰及び大阪市の財政状況の悪化等の大きな環境変化で、私どもを取り巻く環境は誠に厳しいものがあり、その厳しさは年々増大しています。

また、学術情報基盤の整備や施設の設備の経年劣化への対応をはじめ、取り組むべき課題は山積しています。

このような厳しい状況の中、今一度、すべての事務事業について、総点検を行い、環境の変化や利用者のニーズを踏まえ、適切に対応していかなければなりません。現在、第２期の中期目標・中期計画の策定に向け、第１期計画の達成状況等の検証に取り組んでおり、このセンターの歩むべき新しい姿を明確にしたいと考えています。

本事業年報は、平成２１年度の運営状況をとりまとめたものですが、関係各位におかれましては、今後とも、当センターの運営につきまして、格段のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 22 年 10 月

大阪市立大学学術情報総合センター
所長　橋本　秀樹

# 目　　次


１．平成２１年度の主な動き ····· 1

２．日　誌

（１）行　事 ····· 4

（２）各種会議 ····· 4

（３）主な訪問者 ····· 5

３．主な刊行物 ····· 6

４．ガイダンス

（１）ライブラリーガイダンス ····· 7

（２）医学分館ガイダンス ····· 8

（３）情報処理システムガイダンス ····· 8

５．サービス対象者数 ····· 9

６．図書市民利用制度 ····· 9

７．予　算 ····· 10

８．図書部門

（１）資料受入状況 ····· 11

（２）利用状況 ····· 19

（３）レファレンスサービス利用状況 ····· 22

（４）電子図書館サービス利用状況 ····· 23

９．情報処理部門

（１）研究用システム ····· 25

（２）教育用システム ····· 28

（３）大阪市立大学情報ネットワークシステム ····· 30

（４）教務事務システム ····· 32

10．教育・研究部門

（１）教員組織 ····· 33

（２）教　育 ····· 33

（３）研　究 ····· 34

（４）基盤支援 ····· 35

11．センターの組織

（１）管理機構図 ····· 36

（２）運営委員会委員 ····· 37

（３）事務組織 ····· 38